

2025 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 プラットフォーム

1 事業活動方針

本年は当活動の支点を据え、行政、他団体、機関との連携、および、自立的な運営の事業立ち上げと体制をつくりました。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 支援の届きにくい子どもと若者に関する相談・援助事業

(ア) 居場所事業

(ア) 名称： 子どもと若者の図書館

(イ) 内容： 子どもと若者に必要な情報と安心できる場所を提供する私設図書館を運営。横須賀に直営3館、その他関東に延べ16館。すべての子どもが無料で自由に出入りし、居場所として過ごす、学習サポート、ママさんサロン、ワークショップなどで利用。

(ウ) 日時： 2025年5月から週3～4日間・不定期で開館。主に9:00~18:00

(エ) 場所：

- ① 衣笠小学校徒歩1分図書館
- ② 船越小学校徒歩1分図書館
- ③ 津久井浜団地徒歩0分図書館

(オ) 従事者人員： 6人（保健師、看護師、元教員、主婦などによる見守り）

(カ) 受益対象者： 一般住民の方々

(キ) 協力：

- ① 衣笠駅徒歩1分図書館
 - 1. 鎌倉えんぴつの会
- ② 船越小学校徒歩1分図書館
 - 1. 横須賀市立田浦中学校
- ③ 津久井浜団地徒歩0分図書館
 - 1. 神奈川県土整備局 建築住宅部 公共住宅課
 - 2. 政策局いのち・未来戦略本部室 コミュニティ活性化グループ
 - 3. 福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課
 - 4. 福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課
 - 5. 社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団 横須賀老人ホーム（北下浦地

域支援包括センター)

(ク) 支出額:

- ① 衣笠駅徒歩 1 分図書館: 94 万円
- ② 船越小学校徒歩 1 分図書館: ワンハウスに含む
- ③ 津久井浜団地徒歩 0 分図書館: 490 万円

(イ) 地域資源の掘り起こし事業

(ア) 名称: やさしい学校

(イ) 内容: 多世代交流、体験学習、助け合いの姿勢や知恵を子どもと大人が共に学び考え、相談しやすい環境をつくる。まちのひとが得意なことを持ち寄って参加費無料のワークショップを実施、定期的を開催することによって参加者同士の交流と関係性を育む。

(ウ) 日時: 2025 年 7~8 月

(エ) 場所: 船越小学校徒歩 1 分図書館、衣笠駅徒歩 1 分図書館、津久井浜団地徒歩 0 分図書館

(オ) 従事者人員: 2 人(事務局)、地元企業・個人 25 名(ワークショップ提供)

(カ) 受益対象者: 一般住民の方々(延べ 150 人)

(キ) 支出額: 2 万円

(ウ) 地域づくり事業

(ア) 名称: こどもがつくる子ども食堂

(イ) 内容: 子ども同士が誘いやすい場をつくるために、子どもがつくって提供する食堂を実施。調理体験・職業体験をしながら栄養バランスの取れた食事を提供。食事の機会を通じて家庭の孤立や子どもの健康維持をサポートする。食材のご寄付を頂戴したため、支出を減らすことが出来た。

(ウ) 日時: 7 月まで月 1 回実施

(エ) 場所: Café TePeu (船越小学校徒歩 1 分図書館と併設)

(オ) 従事者人員: 5 人(管理栄養士、栄養士、主婦、高校生)

(カ) 受益対象者: 一般住民の方々、1 回平均 40~50 名

(キ) 支出額: 2 万円

(エ) 地域ケア事業

(ア) 名称: ワンハウス

(イ) 内容: どんな家庭環境でもすべての子どもが健やかな生活習慣を身に付ける機会を提供する拠点を運営。入浴・洗濯・食事・心のケア・仮眠ができるようにサポートする。

- (ウ) 日時： 2025 年 5 月~2026 年 4 月
- (エ) 場所： 船越小学校徒歩 1 分図書館
- (オ) 従事者人員： 2 人（児童指導員）
- (カ) 受益対象者： 0~18 歳の子どもと若者とその保護者
- (キ) 支出額： 約 500 万円

(オ) 相談・援助事業

- (ア) 名称： 子どもと若者の訪問看護
- (イ) 内容： 0~18 歳の子どもの家庭生活を支えるために看護師が訪問支援を行う。障害、医療的ケア児、精神疾患、不登校など幅広い課題に対応する。医療サービスを立ち上げ、ひきこもりや精神疾患の状態のお子さんと出会うことが出来ている。
- (ウ) 日時： 2025 年 5 月~2026 年 4 月
- (エ) 実施形態： 収益事業
- (オ) 従事者人員： 5 人（地域見守り、心理士、社会福祉士）
- (カ) 支出額： 1,000 万円

(カ) 普及啓発事業

- (ア) 内容： 自主映画の制作を行い、次年度以降の上映会の企画・計画を行うことが出来た。
- (イ) 日時： 2025 年 5 月~2026 年 4 月の間、約 1~3 回程度
- (ウ) 支出額： 約 10 万円円

(キ) 訪問看護事業

- (ア) 内容： 0~18 歳を主な対象とした訪問看護事業を実施。不登校、精神疾患、虐待、自殺念慮などの子ども達に看護師が訪問し、子どもと居宅を共にする家族のサポートを行う。
- (イ) 日時： 窓口営業は、毎週水曜~土曜日 8:45~17:45。訪問は月曜日も行う。
- (ウ) 支出額： 約 450 万円